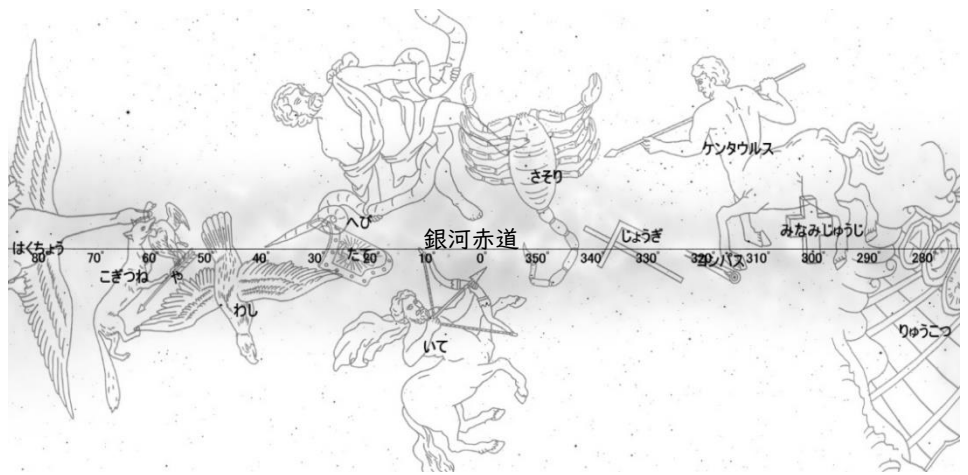


## ぎんが せいざ 銀河23星座

はな 華やかだった冬の星座  
が西に 傾くと、やや地味な  
春の星座が上ってきます。  
春は天の川がほとんど見  
えない季節です。天の川は  
南の地平線の下を流れ、  
「夏の天の川」へと続いて  
います。地平線の下の天の  
川に沿って日本からは見ら  
れない珍しい星座が並ん  
でいます。



天の川の中の星座(銀河座標で描かれています)は、冬の星座から夏の星座へと  
直結しています。じょうぎ座、ケンタウルス座、コンパス座、みなみじゅうじ座は日  
本からはほとんど見えません。この図はアストロアーツ社製ステラナビゲータ10で  
作成しました。

天の川の中にある星座を並べると、黄道12星座ならぬ、銀河23星座を作ることができま  
す。現在では天の川は、私たちの住む銀河系を内側から眺めた姿だということが分かって  
います。人類が、太陽系を離れて大宇宙へ飛び出した視点で便利に使うことのできる座標  
系は、銀経(l)と銀緯(b)で表される銀河座標です。銀河座標の原点0度は、銀河系の中心  
方向である、いて座にあります。順に並べてみると、いて座、へび座(尾)、たて座、わし座、や  
座、こぎつね座、はくちょう座、とかげ座、ケフェウス座、カシオペア座、ペルセウス座、ぎよしゃ  
座、おうし座、オリオン座、いっかくじゅう座、おおいぬ座、アルゴ座、ケンタウルス座、みなみじ  
ゅうじ座、再びケンタウルス座、コンパス座、じょうぎ座、さそり座の 23星座です。  
星に詳しい人でも馴染みの薄い星座が並んでいますね。そもそも星座を作った人たちは、太陽  
の通り道である黄道は強く意識したようですが、天の川はあまり気にしなかったようです。  
まだ、銀河の重要性に気が付いていなかった頃なので仕方ないかもしれませんね。